

# 令和7年度 アンケート結果から

令和8年2月 天王小学校

【保護者】 \*あてはまる、まあまああてはまるの合計ポイント

設 問	あてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
問1 お子さんは、楽しく学校で生活をしている。 * 95.4	41.5%	53.9%	3.6%	1.0%
問2 お子さんは、あいさつや正しい言葉づかいができ、思いやり、感謝の心などが育ってきている。 * 89.3	22.5%	66.8%	9.8%	0.9%
問3 お子さんは、友達となかよく生活をしている。 * 95.9	42.4%	53.5%	4%	0.1%
問4 お子さんは、授業や家庭学習に真剣に取り組み、基礎学力が身についている。 * 81.9	25.0%	56.9%	15.4%	2.7%
問5 お子さんは、病気やけがをしないように気をつけて生活している。 * 90.8	29.1%	61.7%	8.3%	0.9%
問6 お子さんの学級は、落ち着いており、発言しやすい雰囲気ができている。 * 88.6	29.3%	59.3%	8.9%	2.3%
問7 お子さんの学級は、よく分かる授業をしている。 * 92.5	33.6%	58.9%	6.1%	1.4%
問8 学校は相手を思いやるやさしさ等の道徳性を培い、命を大切に作る心を育てている。 * 91.1	26.5%	64.6%	7.1%	1.8%
問9 学校は、子どもたちの安全や健康に十分な配慮がなされている。 * 94.2	29.5%	64.7%	4.9%	0.9%
問10 学校は、通信やホームページなどで学校の様子をよく知らせている。 * 88.4	33.4%	55.0%	10.0%	1.6%

【児童】 \*あてはまる、まあまああてはまるの合計ポイント

設 問	あてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
問1 学校は楽しいですか。 * 93.8	56.0%	37.8%	5.6%	0.6%
問2 授業はよくわかりますか。 * 92.1	47.8%	44.3%	6.8%	1.1%
問3 授業中に進んで自分の考えを発表することができましたか。 * 75.9	33.7%	42.2%	20.1%	4.0%
問4 あなたは時間を守ったり、きまりを守ったりして生活していますか。 * 91.9	53.4%	38.5%	7.3%	0.6%
問5 友達と仲よく生活していますか。 * 96.5	71.4%	25.1%	3.2%	0.3%
問6 病気やけがをしないように気を付けて生活していますか。 * 91.9	58.5%	33.4%	5.2%	2.7%
問7 「おはようございます」「ありがとう」などその場にあったあいさつができていますか。 * 90.2	53.0%	37.2%	8.4%	1.4%
問8 係や当番の活動に進んで取り組んでいますか。 * 96.1	69.1%	27.0%	3.7%	0.4%
問9 トイレのスリッパや下駄箱のくつをそろえるなど、身の回りの整とんをしていますか。 * 87.2	45.8%	41.4%	10.6%	2.2%

## R8 天王小学校「本年度の重点努力目標」に照らして考察します

### 「重点努力目標」

- I すべての子どもに学ぶ楽しさを届ける。
- II あいさつとあたたかな言葉があふれる学校をめざす。
- III 基盤となる安心・安全・健康を大切にする。
- IV 地域・家庭に積極的に情報を発信し、連携を強化する。
- V 教師の働き方を改善し、より生き生きとした先生を増やす。

## I すべての子どもに学ぶ楽しさを届ける について

(以下%表示は「あてはまる」「まああてはまる」の合計)

- 1. 【児童】 ①学校は楽しいですか。93.8%  
【保護者】 ①お子さんは楽しく学校で生活している。95.4%  
【教職員】 ①④子どもの理解に努め、子どもの居場所がある学級づくりに努めている。100%
- 2. 【児童】 ②授業はよく分かりますか。92.1%  
【保護者】 ⑦お子さんの学級は、よく分かる授業をしている。92.5%  
【教職員】 ①④分る授業、楽しい授業づくりに努めている。94.9%
- 3. 【児童】 ③授業中に進んで自分の考えを発表することができましたか。75.9%  
【保護者】 ⑥お子さんの学級は、落ち着いており、発言しやすい雰囲気ができている。88.6%  
④お子さんは、授業や家庭学習に真剣に取り組み、基礎学力が身についている。81.9%

### <考察>

学校を楽しんでいる子が多く、子どもに学ぶ楽しさを届けるという土台については、しっかりできていることが分かる。中でも1、2年生については70%以上の子が「とても」と感じている。他の学年も93%を超える子が「とても」「まあまああてはまる」と答えている。昨年度は高学年で「楽しい」の割合が下がっていたが、今年度は全学年で高い水準を維持している。

授業に対しても「わかる」「まあまあわかる」と答えている子の割合は、どの学年も90%を超え、中でも2年生については、97%を超えている。基礎基本を大切に日々楽しい授業を目指して努力している先生方のがんばりが伝わる結果である。ただし、自分の考えを伝えることには抵抗のある子が多く、2年生でも81%にとどまっている。正しいことを答えるだけでなく、どんな意見も受け止めてもらえる安心感や自分の思いを伝えたい教材や授業形態の工夫をしていきたい。

また、保護者については、学校生活や授業については好意的に受け止めていただけているが、学習意欲や基礎学力については心配していることがうかがえる。子どもたちが生き生きと学習に向かう姿を学校から発信したり、基礎学力が身につくように各学年で取り組んでいる漢字計算のコンクールを充実させたりしていきたい。

## II あいさつとあたたかな言葉があふれる学校をめざす について

- 1. 【児童】 ④友達となかよく生活をしていますか。96.5%  
⑦「おはようございます」「ありがとう」などその場にあった挨拶ができていますか。90.2%  
【保護者】 ③お子さんは、友達となかよく生活をしている。95.9%  
②お子さんは、挨拶や正しい言葉づかいができ、思いやり、感謝の心などが育ってきている。89.3%  
⑧学校は相手を思いやるやさしさ等の道徳性を培い、命を大切にする心を育てている。91.1%  
【教職員】 ③あいさつに力を入れることができたか。97.5%  
④お互いを認め合う言葉が飛び交う、子どもが主体となる活動を推進できたか。97.4%

### <考察>

どの学年も95%を超え、ほぼ同じ割合で友達と仲よく過ごせている。1、2、4、5年生については、「できなかった」と回答した児童は0人だった。学校のよいところについての自由記述には、「友達」「みんな」「先生」「プレイタイム」という言葉が多く出てきている。友人関係や先生との関わり方、放課の過ごし方が子どもたちにとって大きな存在になっていることが分かる。

挨拶については、どの学年も90パーセント前後で、昨年度よりもできるようになったと感じている子の割合が高くなっている。挨拶ができる学校を目指し、運営委員会を中心に挨拶運動を展開し、キャンペーンを盛り上げるための上り旗を準備したこともよかったのではないかと思う。教職員の意識も高くなっている。今後も教職員が挨拶を率先して行い、当たり前のように挨拶ができる学校にするために、児童が中心になって取り組む活動を支援していきたい。

さらに、道徳を中心に各教科、行事などを通し、思いやりや命を大切に作る姿勢を育てていく意識をもち、学級内の小さなことに目を向けられる教師でいられるようにしていく。

### Ⅲ 基盤となる安心・安全・健康を大切にする について

1 【児童】⑥病気やけがをしないように気を付けて生活していますか。91.9%

【保護者】⑤お子さんは、病気やけがをしないように気をつけて生活している。90.8%

<考察>

5年生のみ88.6%と80%台だったが、他の学年については90%を超え、低学年は97%と高い数値となっている。インフルエンザの流行のため、学級閉鎖はあったもののインフルエンザなどにかからないよう意識した子は多いと思われる。1年生の交通安全教室では校庭にトラックを入れ、急ブレーキや車の死角、横断歩道の渡り方を実践的に行うことができた。校外学習においても、ボランティアさんの力を借り、より安全面に気を付けることができた。通学班については「高学年が低学年の面倒を見ていない」など、保護者からの意見が出ている。高学年に自覚をもたせるだけでなく、低学年も自分で自分の命が守れるように一人一人が安全に登校できるような意識付けができるようにしたい。

地域の方へは、登下校時の見守りの呼びかけを継続し、少しでも安心して登下校できるような協力を得られるようにしたい。

### Ⅳ 地域・家庭に積極的に情報を発信し、連携を強化する について

【保護者】⑨学校は、通信やホームページなどで学校の様子をよく知らせている。88.4%

【教職員】⑦学年・学級通信、絆メール、ホームページなど、さまざまな手段を使って情報を発信することができたか。100%

<考察>

校長が毎日ホームページを更新している。楽しみに見てくれている保護者も多い。昨年よりも1%アップした。継続していくことで学校の様子を地域の方にも知っていただく材料としたい。今年度から学年便りなどのお知らせは絆ネットを使っている。お便りを保護者に出し忘れる子はいなくなったが、伝えたいと思っていたことが見落とされがちになってしまうことがある。例えば、今回の学校評価の回収率は、紙媒体の昨年度は94.3%だが、今回、79.2%と低くなっている。大変便利で手軽であるが、回収率の課題が見えてきた。絆ネットを上手に使い、効率よく大切なことがきちんと伝わる工夫をしていきたい。

### Ⅴ 働き方を改善し、より生き生きとした先生を増やす について

【教職員】⑨働き方のリズムをつくり、在校時間を短縮することができたか。65.7%

⑩専科による授業を活用し、授業の質の向上と担任の負担軽減を両立することができたか。71.5%

⑰校務支援システムの活用を図り、事務効率をあげている。85.7%

<考察>

⑨については、昨年度から13.8%増となっている。⑩の専科による負担軽減については、2.3%減、⑰の事務効率については、4%増となっている。四月当初と木曜日は5時間としたり、配付物を絆ネットで送るなどしたりした。そのため、事務処理にかかる負担が軽減され、在校時間の短縮につながった。しかし、専科による負担軽減についてはポイントが下がっている。専科による空き時間の確保が不十分と感じている先生が多くいる。空き時間をしっかり確保することで、先生方の心の余裕につながると思う。そのためには、十分な人員確保が大きな課題である。市教委に要望していくとともに、カリキュラムの編成などの工夫をしていくようにしたい。

## その他

教職員のアンケートでは、ほとんどの項目で前年度よりポイントを伸ばすことができた。「子どもの理解に努め、子どもの居場所がある学級づくりに努めている」「学年・学級通信、絆メール、ホームページなど様々な手段を使って情報を発信することができたか」については、100%を達成している。地域や家庭との連携についても10%ほど評価が上がっている。コミュニティースクールの意義が広がり、ボランティアの方の協力を多く得られるようになってきたことが考えられる。今後も地域の力を借りながら、子どもたちと一緒に育てていくという姿勢を大事にしていきたい。

全体的によい評価をしていただきましたが、保護者からの自由記述の中で、先生の中に「威圧感がある」「一人一人に合わせた指導ができていない」「自分の感情で叱る」など厳しい意見もあります。また逆の「一人一人に寄り添って指導している」という意見も多くいただいています。どの子にとっても安心して通える学校を目指し、教職員全員が子どもの発達に合わせた対応ができるように研鑽を積み、学校が楽しいと思えない少数の子どもたちに向けてのアプローチの仕方を考えていく必要があります。

風通しのよい職場の雰囲気を大切にし、子どもも教職員も困っていることを自由に話せるように一丸となってがんばっていききたいと思います。